

オリーブガーデン・ニュース /

2016.08.15.
Volume 0021
www.olea-olive.com

The monthly newspaper of the Olive Garden and the world of the olive business

<日米交流：カリフォルニアのオリーブ栽培農家、小豆島を訪問>

◎ フラントイオ果樹園 (Frantoio Grove) のジェフ・マーチンさん (63) は、カリフォルニア州のオリーブ栽培農家。元々は不動産・建築の仕事をしていたビジネスマン。2005年オリーブ栽培を始め、それから6年後に初めてオリーブオイルを生産、「果報は寝て待て Good things come to those who wait. で、それはいい出来だった」といいます。



3,600本のオリーブ園を歩くジェフマーチンさん

◎ フラントイオ果樹園の名が表すようにオリーブの品種はイタリア原産種フラントイオ。カリフォルニアの栽培品種やオイルビジネスを研究し、多くの農家が栽培するスペイン原産種を避け、フラントイオだけの単一品種のオイルを目指したとのこと。◎2007年に200本のオリーブ栽培から始まった農業生産法人株式会社高尾農園は、今や4品種2,000本を越えるオリーブを栽培。2015年にはニューヨークで開催の国際オイルコンテストで金賞を受賞。海外との交流も広がっています。◎この高尾農園を7月中旬マーチンさんが訪問しました。“もっと湿度が高いと想像してきたがカリフォルニアと同じような天気だ”と真夏の太陽が照り

つける小豆島で、品種・果実の収穫時期・オイルの品質などの意見交換がはずみました。◎「小規模栽培農家のビジネスとして課題が多い」と高尾さん。「経済的に維持可能なビジネスにして続けることが目標」とマーチンさん。世界各地も見て歩き、交流を深めたいと8月にはイタリアへ出かけます。



香川県小豆島の高尾農園でマーチン一家

イベント案内 オリーブ盆栽教室

- ・ オリーブの盆栽を作るための基礎を学ぶ入門講座。鉢の準備から、苗の剪定/針金かけ、植え込み方などを体験。
- ・ 日時：8月24日(水)
- ・ 場所：ミルトス(東京都中央区日本橋筋数町)
- ・ お問い合わせ：<http://myrtos.co.jp/>



世界のオリーブ オリンピックにオリーブ

- ・ ブラジルで開催中のリオデジャネイロ2016年オリンピックに、ギリシャからオリーブの枝が送られました。ギリシャとブラジルの代表が歴史的価値があるとしてギリシャに保存されているオリーブの古木から枝を切りブラジルまで運び、開会式では先頭に入場する選手団の手で、平和の象徴として持ち込まれました。



<http://www.zarpanews.gr/> から

<https://www.youtube.com/watch?v=c2nj0lVvQM> から 左にオリーブ

イベント案内 オリーブオイルをとことん堪能する会

- ・ 神田のワインレストランのシェフのオリーブオイルの特徴を最大限に生かした料理とワインを楽しみます。
- ・ 日時：9月3日(土) 18:30から
- ・ 場所：ヴィラ・ドゥエ(東京都千代区鍛冶町)
- ・ お問い合わせ：<http://www.villa-due.com/menu/>



イベント案内 オリーブを知る講座—第3回

- ・ 第3回は、「オリーブオイルを楽しむ」と題してオイルについて、搾油の歴史からオイルの健康情報までをお話します。
- ・ 日時：9月14日(水)
- ・ 場所：ミルトス(東京都中央区日本橋筋数町)
- ・ お問い合わせ：<http://myrtos.co.jp/>



オレア・オリーブ

◎オリーブの品種「フラントイオ」は、イタリア原産種で、トスカニ地方ではフルーティーなオイルが安定した期間取れると言うことで高い評価を得ています。発根力が高く、早い時期から結実します。開花の時期は普通で、雌しべがだめなる率は低いです。自家和合性ですが、適当な

受粉樹があると生産性が高まります。果実が成熟するのは遅いです。中程度のオイルを含みます。

◎この品種は高く安定した生産性と適合性が高く評価されていますが、オリーブ斑点病・癌腫病・ミバエに弱く、また寒さに弱



いです。◎非常に多くの亜種があり同じ性質です。最近の研究で別品種とされていた「オブロンガ」は同一品種であると分かってきました。◎またフラントイオは、オリーブオイルの「搾油所」を意味するイタリア語でもあります。

オレア・オリーブ(Olea. olive) オリーブの学名はOlea europaea L.です。このコラムではオリーブの品種・栽培・産業など様々な情報をお伝えします。ご意見・ご要望などお聞かせください。 editor@olivegarden.jp